

IASC 2008 において D-Link アクセスポイント集中管理ソリューションで協力

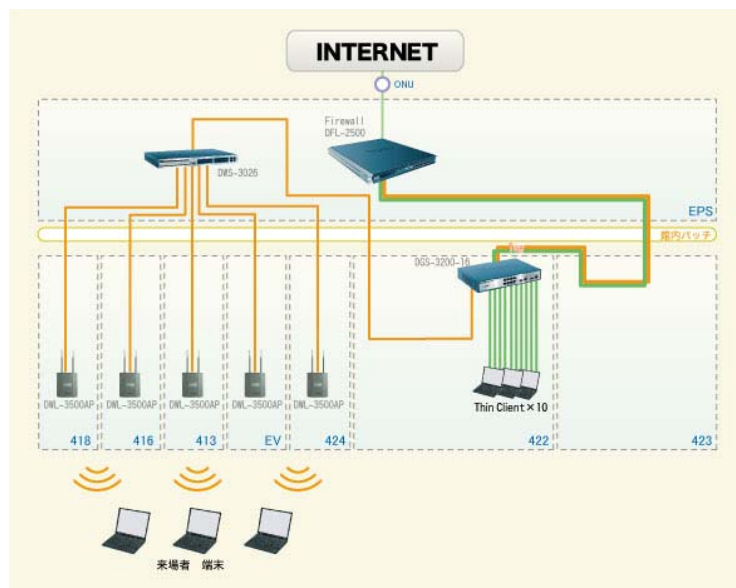
ディーリンクジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：廖 晋新（マーティ・リャオ）、以下：D-Link）は、「IASC 第4回世界大会・第6回アジア大会 合同国際会議」（以下：IASC2008）2008年12月5日（金）から2008年12月8日（月）まで開催された本会議において、ディーリンク ワイヤレスネットワークを提供致しました。

IASC2008 の開催ならびに関連する論文集等の刊行は、統計科学に携わる日本およびアジアの研究者に、世界の最先端の研究の一端に触れる機会を与え、研究者の意欲を掻き立てる契機になるものであり、同時に日本の研究をアジアそして世界中に発信するための場を提供し、日本の計算機統計学の水準向上に貢献しています。

本会議では、設置された端末を自由に利用できる場所にセキュアギガビットスイッチ DGS-3200-16 を設置し、有線 LAN 環境を提供、またアクセスポイント集中管理対応のワイヤレススイッチ DWS-3026 を中心に会場内に IEEE 802.11b/g 対応の無線アクセスポイント DWL-3500AP を設置し、発表会場、ロビー等 5 箇所に設置し、すべての場所からインターネットにアクセスできる快適なネットワークを構築致しました。

<構成図>

- ・ファイアウォール DFL-2500
- ・AP 単体/集中管理用スイッチ DWS-3026
- ・802.11b/g アクセスポイント DWL-3500AP *5
- ・レイヤ 2+コンパクト セキュアギガビットスイッチ DGS-3200-16



ワイヤレススイッチDWS-3026（標準価格 ¥948,000-）は、小中規模から大規模のエンタープライズまで規模に応じた拡張が行えます。SFPスロットを利用した光ファイバへの接続も可能で、オプションの10ギガビットモジュールを使用するとスイッチ間のカスケードや高速光バックボーンへの接続が可能となり、エンタープライズ全体にわたるインターサブネットワークローミングをサポートするL3ルーティングとともに、複雑なWLAN環境を統合します。さらにPoE 給電機能により、電源コンセントへの接続が困難な場所へのアクセスポイントの設置を可能とします。

無線アクセスポイントDWL-3500AP（標準価格 ¥54,800-）はエンタープライズ環境に最適なパワフルで信頼性の高い屋内用無線アクセスポイントです。高スペックと豊富なセキュリティ機能、操作性のよい管理アプリケーションにより、安全性の高い無線ネットワークを提供します。さらにPower over Ethernet (PoE) 受電機能をサポートしており、電源確保の困難な場所への設置も可能で、ダイバーシティ機能を持つ高感度アンテナによる安定した通信とともに最適な無線環境の構築が実現できます。WPA/WPA2 エンタープライズ、64/128/152bitのWEP暗号化機能、MACアドレスフィルタリング、SSID のブローキャスト機能の無効化、マルチSSID機能などにより機密情報の漏洩 などから防衛するビジネスユースにもっとも重要な安全性を確保します。

IASC 2008 公式サイト

<http://jasp.ism.ac.jp/~iasc2008/>

ディーリンクジャパン株式会社
営業本部
e-mail: dlink-info@dlink-jp.com
URL: <http://www.dlink-jp.com/>